

ゆめ

さくら

夢咲楽

～和輪話通信～

目次	■ 思いやりを育む体験活動 1	■ ICT研究班のICTワンポイントアドバイス「違法アップロードの巻」 3
	■ キミチャレンジ 2	■ 青少年センターの活動 4

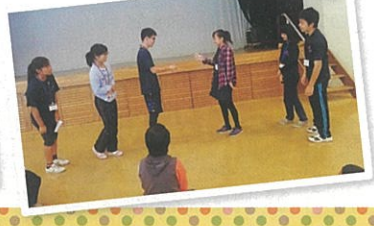
思いやりを育む体験活動

10月7日(土)喜連川公民館で、いきいきクラブ連合会のみなさんやさくらリーダーズクラブのみなさんの協力で「手作りマジック体験&ピザ作り」の体験活動が開催されました。

核家族が進む今の時代に、異世代交流を図ることは大変有意義で、子どもたちにとって貴重な体験になったことでしょう。

子どもたちには、こうした交流体験を通し、他者への思いやりを育み、未来に大きく羽ばたいて欲しいと思いました。

わわわ隊 飯島 満



さくら市青少年センター少年指導員会は、「とちぎの子ども育成憲章」の具現化を目指して、地域における青少年の健全育成のための様々な活動をしています。

— 今回のチャレンジ —

けいおん講座

キミ★チャレンジ

みんなの挑戦を紹介するよ

毎月1回 氏家公民館にて開催

はじめたきっかけは？

- 友達に誘われたので参加しました。
- プレゼントでギターを買ってもらったので。
- けいおん講座開催の用紙が学校にあったので参加しました。
- 好きなバンドをコピーしたかった。
- 同じ世代といっしょにできるので。



やってみてどうだった？

- 知らない人と友達になれてうれしい。
- 家ではできないのでおもしろい。
- アンプなど、専門知識が増えた。
- 音を出して練習ができる氏家公民館 ってすごいなあ。
- 友達が増え、いろいろな曲ができる。



これから挑戦したいことは？

- もっとギターを上手になりたい。
- パーカッションを今以上に出来たらいいな。
- もっと練習してうまくなりたい。
- むずかしい曲に挑戦したい。
- レパートリーを増やしたい。



講師からのメッセージ (高野さん・杉田さん・村上さん)

この講座の開講当初の目的は、子ども達の居場所づくりでしたが、現在は、『公民館』という居場所で子ども達の自尊感情を育むことを目的とした講座になっています。

他の芸術活動でも良かったのかもしれませんが、公民館活動にボランティアとして支援協力できる私たちが、ドラムやベースギター演奏の専門家だったことから、軽音楽の講座になりました。

今年度、長年の支援活動が認められ、全国公民館研究集会「人権分科会」発表事例に選ばれたり、受講者出身者が、栃木県青少年県民会議の社会貢献青少年として表彰されたりするなど、国や県でも高く評価されています。



高野 篤さん



杉田 雅彦さん

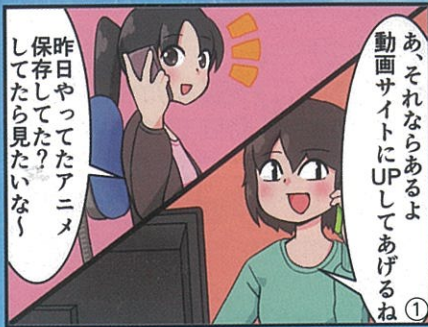


村上 佳彦さん

わわわ隊：福田 克之・大河原 千晶



ICT ワンポイントアドバイス



友達に見せるためだけなんだけど、だめなの？

ダメです。作った人の許可なしでインターネットに音楽や動画をアップロードするのは犯罪です。



でも、ほかにもやっている人がいるよ。

それは違法サイトですね。違法サイトを利用して動画を見たり、ダウンロードすることも犯罪になります。



まとめ

音楽や動画は作った人に権利があります。この権利を著作権といいます。もしこの権利を侵害すると、罰金や懲役刑になる可能性があります。動画サイトにアップロードすることも、そのサイトからダウンロードすることも違法になります。法律に違反することですので、知らなかったでは済みません。しっかりと注意してインターネットを楽しみましょう。

著作権、出版権、著作隣接権の侵害は、10年以下の懲役又は1,000万円以下の罰金が定められています。

青少年センターの活動

「青少年の農業体験」

9月24日(日)市内小学生とさくら清修高等学校コースボランティアの青少年が、柿木澤圃場で、「稲刈り体験」をしました。



稲刈り指導 川崎 利夫さん



参加者の声

・お米をつくるためには、たくさんの人の力がひつようで、時間もかかることがわかった。お米のひとつぶひとつぶを大切にのこさず食べたいと思います。

保護者の声

・「いただきます。」の意味を深く知ることができたようです。心の成長につながりました。
・手をかけないと収穫できないことなど、大変さを理解することで、食べられることの有難さなど感じてくれたようでした。

「広報啓発活動」

11月1日(水)氏家駅前「子供・若者育成支援強調月間」の広報啓発活動を行いました。



11月は、「子供・若者育成支援強調月間」

とちぎの子ども育成憲章

前日を知り子どもたちが、夢と希望を持ち、心算のでたく成長することは、家族すべての願いです
わたしたちは、子育てに積極的にかかわり、子どもたちをみんなで育てていく決意を込め、ここに憲章を制定します

わたしたちは

- 一、子どもたち一人ひとりを尊重し、命を大切にします
- 一、子どもたちとのかわりかわりを深め、思いやりの心をはぐくみます
- 一、子どもたちとともに、学び、喜び、励ましあい、社会の一員としての自覚を育てます
- 一、一人ひとりが子どもたちの手本となるよう行動します
- 一、とちぎの豊かな自然、伝統、文化を守り、子どもたちに引き継ぎます

平成22年2月9日
栃木県

あとがき

他県の話ですが、例年小学校の学力で全国トップレベルの結果を出し続けているのが秋田県です。学力というすぐに教科の得点に目が行きますが、秋田県では「子どもたちの規範意識や自己肯定感の高さ」が学力向上に結び付いています。調査によると、人のつながりの強さと学力の高さには相関関係があるようです。

人とつながりは、地域の人々の支えの中で培われていくものです。わわわ隊が、その一翼となれることを願います。



わわわ隊 岡村 浩雅

「わわわ隊」とは

「(和)やかに(輪)になって(話)そう。」
という、青少年センター少年指導員のみなさんの思いから、「わわわ隊」という愛称がつけられました。

■ 広報啓発班 飯島 満・大河原 千晶・岡村 浩雅・福田 克之・村上 佳彦・加藤 紘敬

さくら市の子どもを
みんなで育てよう

第3日曜は
家庭の日

ゆめさくら わわわつしん
夢咲楽~和輪話通信~ 第33号
発行日 平成29年11月22日

発行 さくら市青少年センター(事務局 生涯学習課)
〒329-1492 栃木県さくら市喜連川4420-1
電話 028-686-6621 FAX 028-686-5368
電子メール syogaigakusyu@city.tochigi-sakura.lg.jp
市ホームページ http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp

次のゆめさくらわわわつしんは平成30年2月に発行予定です